

一般社団法人 日本健康心理学会
第36回大会のご案内<1号通信>

予防と医療、そして健康心理学—10年先をより良く生きるために
2023年12月2(土)・3日(日) 神奈川大学みなとみらいキャンパス

ご挨拶

新型コロナウイルス感染症に翻弄された数年を過ごし、さまざまな制限も緩和され、新たな日常が始まりました。こうした中、2023年度の日本健康心理学会第36回大会は、12月2日(土)・3日(日)の2日間、神奈川大学みなとみらいキャンパスで開催することとなりました。神奈川大学みなとみらいキャンパスは、2021年4月に開設された新しいキャンパスです。みなとみらいという横浜らしい環境で、しかも12月というクリスマスシーズンです。素敵な横浜を存分にご堪能いただければと思います。

今回の大会テーマは、「予防と医療、そして健康心理学—10年先をより良く生きるために」とし、今一度、健康心理学ができること、これから先の展開を十分に検討できる大会とするべく、このようなテーマと致しました。健康とは何か、予防とは何か、そして、支援者・治療者としての健康心理学とは、医療を受けるユーザとしての健康心理学とは、多様な専門性を持つみなさまと活発に議論できることを楽しみにしております。

今回、招待講演は、1日目に島津明人先生(慶應義塾大学総合政策学部教授)にご講演いただきます。健康心理学の重要なテーマである、働く人々のストレスやワークエンゲイジメント研究の現在と未来についてご参加のみなさまと学ぶ絶好の機会です。また、2日目に松本俊彦先生(国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所薬物依存研究部部長)にご講演いただきます。精神医学の立場から、健康心理学の大切さ、そしてその未来についてお話いただき、医療領域における健康心理学の役割を考える機会になればと思います。両講演とも10年先をより良く生きるための重要なアイデアを提供いただけるのではないかと期待しております。さらに、健康心理学会の歴史を振り返る仕掛けなども多数ご用意致します。学部学生の参加費を無料としております。健康心理学の将来を担うみなさまのご参加も楽しみにお待ちしております。

今回の大会はポスター発表も含めて対面開催を基本とします。現在のところ検討中ではありますが、必要に応じて録画をオンデマンド視聴していただけるよう準備を進めております。また、大会1日目の夕方には懇親会も予定しております。行動が制限される中で、人と人が交わる機会も極端に減ってしまいました。この機会にこれまでの出会いとこれからの出会いがより良いものとなることを願っております。もちろんさまざまな状況により、中止せざるを得ない場合もございますが、準備委員会一同、実現できるよう鋭意努力して参ります。

冒頭の通り、12月上旬の横浜はクリスマスイルミネーションをはじめ、とても素敵な空気に満ち溢れます。ぜひほっと息抜きができる瞬間をお過ごしください。多数の皆様のご参加をお待ちしております!

日本健康心理学会第36回大会準備委員会 委員長 山蔦圭輔

I 会期・会場

1. 会期 2023年(令和5年)12月2日(土)・3日(日)

2. 会場 神奈川大学みなとみらいキャンパス

〒220-8739 横浜市西区みなとみらい4-5-3(みなとみらい21中央地区43街区)

※アクセス(大会ホームページにマップ等をリンクしています)

- ① みなとみらい線「みなとみらい駅」下車徒歩6分または「新高島駅」下車徒歩約4分
- ② JR・東急東横線・京浜急行線・相鉄線・横浜市営地下鉄線「横浜駅」下車徒歩約11分
- ③ JR・横浜市営地下鉄線「桜木町駅」から徒歩約12分

II 内容 ※詳細は大会ホームページをご確認ください(末尾に URL を記載しております)。

<学会および大会準備委員会による企画>

1. 総会・集会

大会2日目の12月3日(日)に、会員集会(正会員と準会員のみ対象)を開催します。優秀な論文に贈られる「本明記念賞」の表彰式と受賞者による講演も行われます。

2. 講演

招待講演 大会1日目 12月2日(土)

島津明人先生(慶應義塾大学総合政策学部教授)「働く人々の現在と将来」(仮題)

招待講演 大会2日目 12月3日(日)

松本俊彦先生(国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所薬物依存研究部部长)「10年先のこころの健康とは」(仮題)

3. シンポジウム

各種委員会によるシンポジウムを計画しています。内容が決定次第、大会HPでお知らせします。

4. 研修会

現在企画中です。内容が決定次第、大会HPでお知らせします。

5. 認定健康心理士総会ならびに健康心理学研修会

認定健康心理士の方のための企画です。

6. 懇親会

神奈川大学みなとみらいキャンパス1Fレストラン Voyage での開催を予定しております。

<会員による発表>

1. 一般研究発表

現地でのポスター発表形式のみです。「大会発表論文集(WEB公開)への論文掲載」と「当日の発表」の2条件を満たすことが公式発表の要件となります。

2. 会員企画シンポジウム

日本健康心理学会会員の自主企画によるシンポジウムです。一般研究発表と同様、論文集原稿を事前に提出していただきます。現地あるいは事前収録によるオンデマンド配信のどちらにされるか希望をとらせていただく予定です。なお、現地を希望された場合であっても、会場の都合や他のシンポジウムとの関係で、事前収録によるオンデマンド配信となる場合もありますので、あらかじめご了承ください。

III 大会関連企画

1. 発表賞

一般研究発表の中から、所定の基準により優秀な発表を選び、表彰します。

2. <ヤングヘルスサイコロジストの会>企画 若手シンポジウム

「ヤングヘルスサイコロジストの会」が開催されます。会員企画シンポジウムと同様の自主企画で、参加に年齢制限はなく、参加費は無料です。

IV 一般研究発表, 会員企画シンポジウムの申し込みについて

1. 発表者, シンポジウム企画者, シンポジストの資格

- (1) 一般研究発表の筆頭発表者, およびシンポジウムの企画者は, 申込時に正会員であることが必要です。なお, 筆頭発表者となるのは1人1回に限ります。
- (2) 連名発表者は, 正会員でなくてもかまいません。
- (3) シンポジストは, 申込時には正会員であることを必須としませんが, 大会時には原則として正会員であることが必要です。
- (4) 日本健康心理学会準会員は, 筆頭発表者が正会員の発表において, 大会準備委員会の承認を経ることなく連名発表者となることができます。ただし, 準会員はシンポジストの資格はありません。

- (5) 日本健康心理学会学生会員(学部生)は、発表者およびシンポジストになることはできません。
- (6) 現在は正会員でない方が筆頭発表者ないしシンポジウム企画者になることを希望される場合は、**9月1日(金)**までに、学会事務局へ正会員になるための申請をしてください。
- (7) 現在正会員であり、発表者、並びにシンポジウム企画者とシンポジストになられる予定の方は、2023年度の年会費を学会へ納入済みであることが必要です。
- (8) 筆頭発表者、シンポジウム企画者、シンポジストとして申し込みをされた方は、いずれも大会参加費を**11月1日(水)**までにお支払いください。

2. 申し込み方法

- (1) 大会ホームページにて受付を行います。
 ※受付はすべてインターネット経由とし、FAXや郵送等による受付は行いません。
- (2) 一般研究発表と会員企画シンポジウムは、**8月15日(火)**までにお申し込みください。

3. 発表論文集原稿

- (1) 原稿は、別紙の「発表論文集原稿作成投稿要領」をご参照の上、作成してください。PDF形式のみでの受付となります。なお、大会ホームページからテンプレートファイルをダウンロードできますのでご活用ください。
- (2) 原稿受付は、大会ホームページで行います。**8月15日(火)**までに提出してください。

V 大会への事前参加申込について

発表者や演者等以外の方も、大会に事前参加申込(事前登録)することができます。大会ホームページにて、**11月12日(日)**まで受付を行います。なお、費用の払い込み期限は銀行振込の場合**11月1日(水)**、クレジットカード払いの場合**11月12日(日)**です。会員価格で事前参加申込するためには、**9月1日(金)**までに、学会事務局へ会員になるための申請をしてください。

VI 申し込み・払い込み等の期限(一覧)

◇ 一般研究発表への申込と原稿投稿の期限	7月10日(月)～8月15日(火)
◇ 日本健康心理学会会員企画シンポジウムへの申込と原稿投稿期限	7月10日(月)～8月15日(火)
◇ 大会参加への事前申込の期限	7月10日(月)～11月12日(日)
◇ 事前参加申込者の参加費支払期限	7月10日(月)～11月12日(日)

振込による事前参加費の納入は7月18日より開始いたします(11月1日まで)。カード決済は7月10日より開始いたします(11月12日まで)。事前参加登録において、振込決済を選択された方へ、後日、振込先の口座情報をメールにてご案内させていただきます。

大会事務の効率化のため、各種期限の厳守をお願い申し上げます。

VII 諸費用について

大会にかかわる諸費用は、以下の一覧表のとおりです。

費用	会員・非会員等の種別	事前参加費	通常参加費
		(11月12日まで)	(11月13日から)
大会参加費	会員・準会員(院生を含む)・賛助会員	7,700円	8,800円
	非会員(院生を含む)	8,800円	9,900円
	学部生(学生会員を含む)		無料

注1:発表論文集はWEB上での閲覧として無料化します。冊子体またはCDでの論文集は作成しませんのでご了承ください。

- (1) 事前参加申込・銀行振込をご希望の方は、**11月1日(水)**が事前参加申込の期限です。必ず**11月12日(日)**までに払込をお済ませください。払い込まれた諸費用は、申込者のご都合による参加取り消し・発表取り消し等の場合、如何なる理由でも返却できませんので、ご了承ください(※会員企画シンポジウム不採択の場合はこの限りではありません)。

新型コロナウイルスの感染拡大など、不可抗力、またはやむを得ない事由により本学会の開催期間及び開催方法の変更、または開催の中止等を行う場合もあります。実施形式の変更、延期や中止になった場合の諸費用の扱いについては、理事会と相談したうえで、ご連絡申し上げます。

- (2) 発表に対する費用はかかりませんが、筆頭発表者、シンポジウム企画者、シンポジストの方は、大会参加への事前申込みと参加費の事前が必要です。
- (3) 払込取扱票の送付はいたしません。お振込み先は、参加登録を完了し銀行振込を希望された方へメールにてお知らせいたします。また、通信欄には、申込番号(RG0000)を明記してください。
- (4) 払込受領票は、大会当日まで大切に保管してください。事前申込で諸費用のご納入が確認できた方に、参加証とプログラム集を11月下旬に事前送付いたします。当日参加費申込の方へは、大会当日に受付にて準備します。

VIII 今後の予定

- (1) プログラム集の発送:**11月下旬**を予定しております。Web上での公開は**10月下旬**を予定しております。
- (2) 発表論文集について:今大会では発表論文集はWEB上での閲覧のみとして、冊子体またはCDでの論文集は作成しませんのでご注意ください。**10月中旬**の公開を予定しています。必要な方は、ダウンロードと印刷等をお願いいたします。

IX 大会に関する情報、およびお問い合わせ先

1. 大会ホームページ

大会の最新情報は、ホームページにて随時お知らせいたします。また、大会参加・発表申し込みや発表論文集原稿の投稿受付についても、すべて大会ホームページを通じて行います。

<https://jahp36th.fjss.jp>

2. 日本健康心理学会第36回大会に関するお問い合わせ先

大会ヘルプデスクを設けています。ご不明な点がございましたら、どうぞお問い合わせください。

〒332-0016 埼玉県川口市幸町3-7-22 ML21ビル504

日本健康心理学会第36回大会ヘルプデスク

E-mail: jahp36@mhcnc.co.jp

※お問い合わせは、E-mailにてお願いいたします。

以上

日本健康心理学会 第36回大会 発表論文集 原稿作成投稿要領

I 発表の形式と投稿方法

1. 一般研究発表および会員企画シンポジウム

1) 投稿方法

大会ホームページ上の発表登録システムにて、ファイルのアップロードによる投稿となります。投稿の手順は、大会ホームページ(<https://jahp36th.fjss.jp>)にてご案内いたします。

2) 投稿形式

投稿時のファイル形式はPDF形式のみでの受付となります。大会ホームページ上でのPDF変換用システムは使用できなくなりました。各自でPDFファイルを作成してください。

3) 投稿期限

2023年8月15日(火)

II 一般研究発表および会員企画シンポジウムの原稿ファイル作成方法

1. 論文の構成

- 1) 原則として、目的、方法、結果、考察などの項目に分けて記述し、科学論文の要件を満たしてください。
- 2) 発表の際には利益相反の開示が義務づけられています。利益相反とは、研究によって社会に還元される公的な利益、および産学連携等によって生じる私的利益、これら二つの利益が研究者個人の中に生じる状態を指します。利益相反の状態自体は問題ありませんが、研究を支障なく進めるために情報開示を行う必要があります。利益相反関係にある企業の有無および有の場合は企業名を明記するようお願い致します(例1. 利益相反開示:発表に関連し、開示すべき利益相反関係にある企業などはありません/例2. 利益相反開示:発表に関連し、〇〇製薬会社と利益相反関係にあります)。
- 3) 所属する組織および研究が行われる組織の倫理委員会等による承認、データの開示と保管において個人情報の保護に適切な配慮がなされているか、研究を進める上で研究協力者の同意が得られているか、個人を特定できないよう十分にプライバシーが守られているか等の倫理的配慮についても記載をお願いします。

2. 用紙と作成方法

- 1) 原稿はワードプロセッサなどを使用して、A4判用紙1枚にまとめて作成してください。
- 2) 作成にあたっては、ご自身の責任で個人情報の保護、知的財産権の扱いに十分ご留意ください。
- 3) 大会ホームページに原稿作成用テンプレートファイルを用意する予定ですので、ダウンロードしてご利用ください。

3. 書式・レイアウト (p.7 図1参照)

- 1) 用紙は縦置き、文面は横書きです。
- 2) 上下に20mm、左右に16mmの余白を取ってください。
- 3) 1行目にタイトル、2行目に発表者氏名・所属、3行目にキーワード(3語~5語)を書いてください。
- 4) 発表者が複数名の場合は、責任発表者の氏名の前に○印をつけてください。この部分が全体の1/5程度に収まるようでしたら、行数が増減しても構いません。
- 5) 本文は2段組で、1段あたり27文字×40行程度を基本としますが、文字数・行数は適宜調節してください。ただし、上下左右の余白サイズは変更しないでください。
- 6) 本文の最後の行に、発表者全員の氏名をローマ字で記入してください(例. KENSHIN Taro)。

- 7) フォントサイズはタイトルが18ポイント、氏名・所属が10.5ポイント、キーワードと本文は9ポイントを基本とします。
- 8) フォントは本文のみ「MS 明朝体」とし、タイトル、氏名・所属、キーワード、中央大見出しの目的・方法・結果・考察については、「MS ゴシック体」を基本とします。
- 9) 原稿には、ページ番号、ヘッダー、フッターなどを挿入しないでください。

Ⅲ シンポジウム の原稿作成要領

1. 用紙と作成方法 (p.8 図2, 3参照)

- 1) 原稿はワードプロセッサなどを使用して作成してください。
- 2) 企画者は、シンポジウムの趣旨、および各話題提供者の発表内容について、A4判用紙2枚にまとめてください。
- 3) 話題提供者の発表内容ごとに、氏名、発表タイトル、発表内容を載せてください。
- 4) 作成にあたっては、ご自身の責任において個人情報の保護、知的財産権の扱いに十分ご留意ください。
- 5) 大会ホームページに原稿作成用テンプレートファイルを用意する予定ですので、ダウンロードしてご利用ください。

2. 書式・レイアウト (p.8 図2, 3参照)

- 1) 用紙は縦置き、文面は横書きです。
- 2) 上下に20mm、左右に16mmの余白を取ってください。
- 3) 本文は2段組で、1段あたり27文字×40行程度を基本としますが、文字数・行数は適宜調節してください。ただし、上下左右の余白サイズは変更しないでください。
- 4) 1枚目の1行目にシンポジウム名、2行目以降に企画者、司会者、話題提供者、指定討論者の氏名・所属を載せてください。
- 5) 本文の最後の行に、シンポジスト全員の氏名をローマ字で記入してください
(例. KENSHIN Taro)。
- 6) フォントサイズはタイトルが18ポイント、氏名・所属が10.5ポイント、本文は9ポイントを基本とします。
- 7) フォントは企画趣旨と話題提供の内容のみ「MS 明朝体」とし、タイトル、企画者・司会者・話題提供者・指定討論者の氏名および所属、横大見出しの企画趣旨、話題提供者・氏名については、「MS ゴシック体」を基本とします。
- 8) 原稿には、ページ番号、ヘッダー、フッターなどを挿入しないでください。

図1. 発表論文集原稿の基本形式

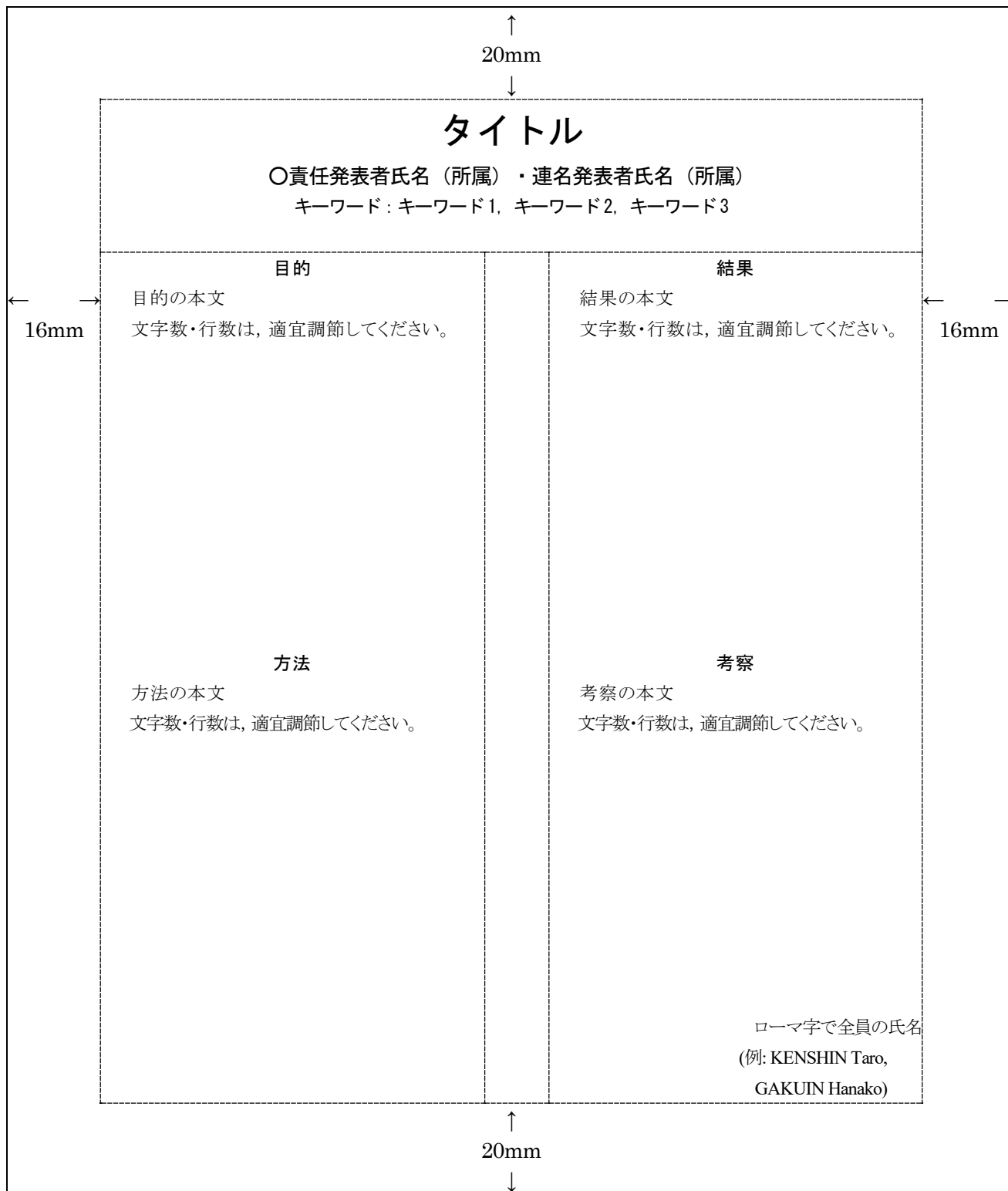


図 2. シンポジウムの基本形式(1 枚目)

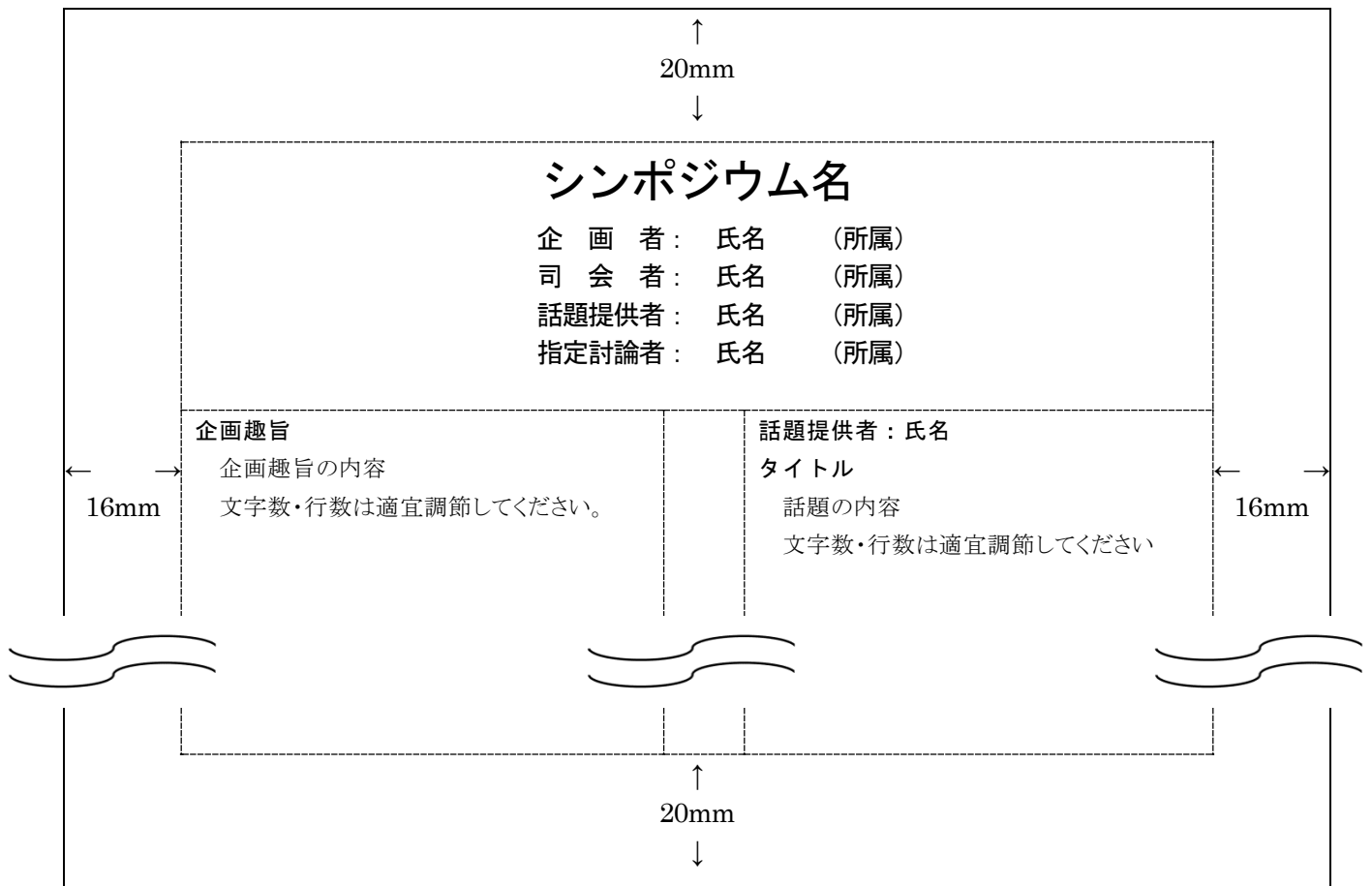


図 3. シンポジウムの基本形式(2 枚目)

